

株式会社まちづくり佐伯
の経営状況を説明する書類

令和5年第4回
佐伯市議会定例会

株式会社まちづくり佐伯の概要

令和5年7月1日現在

- 1 名 称 株式会社まちづくり佐伯
- 2 目 的 中心市街地の活性化を先導する役割を担い、市民の生活文化の向上とにぎわいのあるコミュニティづくりを実現する。
佐伯市や商工会議所を始めとした関係者とともに、佐伯市市街地グランドデザインの中に位置付けられた多くの事業を具体化し、支援していくことにより、更なる中心市街地の活性化を積極的に進めていく。
- 3 設立年月日 平成21年9月17日
- 4 資 本 金 15,500千円（市出資等額：7,000千円、市出資等割合：45.2%）
- 5 役 員 取締役4人 監査役2人
代表取締役 宮 明 邦 夫
取 締 役 戸 高 信 義
" 山 本 徹
" 安 部 秀 昭
監 査 役 田 口 朗 生（税理士）
" 小 野 和 章（佐伯市地域振興部長）
- 6 従 業 員 社員8人、パート社員3人
- 7 事 務 所 佐伯市城下西町1番2号

令和4年度事業報告書

令和4年度は、地方創生推進交付金事業である市街地人と仕事創造推進業務、チャレンジショップ事業、産業教育促進協議会業務や佐伯市大手前情報発信館指定管理業務等を実施した。新たに食のまちづくり推進事業も加わり、まちづくり会社が求められている役割を果たすため、社員一丸となり、各事業に取り組んだ。当年度中に取り組んだ事業は次のとおり。

1 市街地人と仕事創造推進業務

【業務の目的】

佐伯市グランドデザインに基づき、中心市街地内でのにぎわい創出イベントの企画、実施、まちづくりに関わる人や団体の紹介、新規創業の創出支援等の業務を市民、民間団体、企業と協力して実施することで、中心市街地のにぎわいの創出を図った。

【事業内容と結果】

(1) 市内外から集客する魅力あるイベント、交流会の企画・実施

ア 大手前ストリートタイムスと連携したにぎわい(場所：さいき城山桜ホール周辺)

大手前地区の若手リーダーと毎回テーマを決めて、それに沿った会場の雰囲気作りや来場者を巻き込んだ「消費だけ」ではない、来場者も楽しめるイベントを行い、大手前のにぎわい創出の一助となるイベントを開催した。来訪者の合計は4,703人。

- ・令和4年5月8日(日) テーマ：アウトドア(来訪者1,142人)
- ・令和4年7月3日(日) テーマ：ムエタイ大会(来訪者1,239人)
- ・令和4年8月27日(土) テーマ：お盆ダンス(来訪者976人)
- ・令和4年10月22日(土) テーマ：ハロウィン(来訪者700人)
- ・令和4年12月17日(土) テーマ：クリスマス(来訪者646人)

イ オーガニックマルシェ(場所：さいき城山桜ホール周辺)

佐伯市の豊かな海、山、川の今ある自然環境や生態系を守り、持続可能な未来をつくるために、人と人とが手を取り合いつなげることでオーガニックなまちづくりを目指し、オーガニックにふれる、生産者と消費者をつなぐ商品を販売した。来訪者の合計は1,500人。

- ・令和4年5月8日(日) ファミリーフェスタ同時開催
- ・令和4年8月6日(土)～7日(日) 全国乾しいたけ振興大会共催
- ・令和4年11月5日(土) さいきオーガニックフェスタ共催
- ・令和5年1月29日(日) 単独開催
- ・令和5年3月26日(日) 地域おこし協力隊イベントとの協力開催

ウ 葛港のにぎわいづくり 第7回佐伯みなとお魚フェスタ(場所：葛港)

当社も実行委員会のメンバーの一員となり、祭りの問合せ窓口や当日の運営メンバーとして活動を行った。来訪者は4,000人。

- ・令和4年11月6日(日)

- エ うまいもん通り新鮮の会との連携（場所：うまいもん通り）
麦焼酎の新ラベル募集やうまいもん通り秋祭りの当日メンバーの一員として活動を行った。来訪者は5,000人。
・令和4年10月29日（土）
- オ その他の取組
高校生を対象にしたワークショップや婚活系新成人交流イベントを企画、実施した。コロナ禍で各種制限がある条件の中で健闘したものの、延期や中止をせざるを得ない状況となり、先送りした案件もあった。
- (2) WEBを活用した佐伯産品のセールス、飲食業や観光情報発信
まちづくり佐伯のホームページとインスタグラムを中心にイベント情報などを発信した。特に「最近の佐伯」というホームページとインスタグラムのアカウントを作成し、飲食店情報の紹介に力を入れた。
また、さいき本舗城下堂の店頭販売を中心に佐伯商品の紹介を行い、お歳暮商戦ではまちづくり佐伯のインスタグラムで広告を出し、商品情報を多くの方に知っていただける取組も行った。今後の課題として、売上げ増を目指すためのオリジナル商品の開発力不足が判明した。
・まちづくり佐伯公式ホームページ：投稿数 62、表示回数 12,563、訪問者数 4,121
・まちづくり佐伯公式インスタグラム：投稿数 80、フォロワー数 815
・「最近の佐伯」公式ホームページ：投稿数 62 表示回数 21,242 訪問者数 8,809
・「最近の佐伯」公式インスタグラム：投稿数 69 フォロワー数 383
・城下堂お歳暮広告（1か月間）：広告表示回数 18,860、広告クリック数 508
- (3) まちなか開業サポートセンター設置運營業務
新規創業等希望者へのサポートを行うため、連携先（佐伯商工会議所、番匠商工会、あまべ商工会、おおいたスタートアップセンター、大分県よろず支援拠点、大分県事業継承引継ぎ支援センター）の整理を行い、また、佐伯市制度資金取扱金融機関とも情報の共有を図った。また、佐伯市主催の創業セミナー（4回）にも参加し、相談者のレベルアップを図った。
・開設日：令和4年9月1日
・相談件数：5件
- (4) 民間活力応援業務
佐伯市市街地民間活力応援補助金を活用したクラウドファンディングのPRチラシを新規作成の上PR活動を行うとともに、初心者向けのセミナーを開催した。
・セミナー開催日：令和5年2月9日 参加者3人
- (5) 新商品開発
新たな地域産品の開発や新しい視点でのブランドを作り上げていくため、さいきオーガニックマルシェに出店できるような佐伯産品を開発した。開発の手

法として既存の商品の原材料の市内調達化を進め、商品のオーガニック化を図った。

- ・開発品数：2品（かんちゃんホルモン、しいたけの佃煮）

2 佐伯市チャレンジショップ事業

【事業の目的】

佐伯市中心市街地の空き店舗を活用し、低廉な家賃で開業できるチャレンジショップを一定期間提供し、商業者の発掘・育成を図った。

【事業内容と結果】

対象業種：飲食業、小売業、サービス業 等

入店希望者の募集、制度説明、事業概要の聞き取り調査、受付

審査会の開催

商工会議所と連携しての経営指導の実施

セミナー等の情報提供 等

成果：中心市街地の空き店舗を利用し、新規創業者の発掘と育成を目的とした事業に取り組んだ結果、年度内に1店舗が新規開業した。現在は2店舗のチャレンジショップ事業を実施している。

3 地域産業教育促進事業

【事業の目的】

学校や地元の学生、保護者を対象に地場企業の有する知識や技術、さらには、生活文化や人材を含め、地域固有の資源を幅広く知ってもらうための取組を支援し、佐伯市を自分たちの手で発展させていこうという志を持つ子供たちを育てる。

【事業内容と結果】

コミュニケーション能力向上講座の実施

今後社会で求められるコミュニケーション能力、接遇について佐伯市地域産業教育促進協議会及び専門分野各社から講師を招き、実践ワークを行ったことで、スキルアップが図られた。

- ・中学生向け講演会：1回実施、参加者 71人

- ・高校生向け講演会：4回実施、参加者 329人

接遇教育の実施

挨拶や身だしなみなどの基本的なマナーを講演し、基本マナーが相手に与える印象や相手を思いやる大切さを学んだ。

- ・小学生向け講演会：2回実施、参加者 35人

- ・中学生向け講演会：6回実施、参加者 136人

企業見学体験学習の実施

小中学生及び高校生が地元企業を訪問し、「本市に働く企業がない」という考えから「本市に魅力的で頑張っている企業がたくさんある」というように意識が変わった。今後も多くの若者が地元に残って活躍してもらえるような取組を進める。

- ・企業見学体験学習会：24回実施、参加者 1,399人

4 食のまちづくり推進事業

【事業の目的】

食のワークショップ等の実施を通し、佐伯市の食のまちづくりの推進を図った。

【事業内容】

さいき城山桜ホールキッチンコートでの食育ワークショップ：36回開催、参加者数
379人

巣立つ君たちへの自炊塾：令和5年2月12日開催、参加者数15人

【結果】

食育活動しながら食の大切さを市民に伝えていくことで将来にわたり佐伯市の豊かなまちづくりに貢献していく思いを浸透することができた。あわせて、ヒトとヒトが
つながりあう食育活動の実施ができた。

5 佐伯市大手前情報発信館管理事業

【事業の目的】

さいき城山桜ホール、バスターミナルに隣接する大手前地区の情報発信館から佐伯市の様々な情報を発信し、PRを行う。

【事業内容と結果】

大手前情報発信館内で営業している「さいき本舗城下堂」で、佐伯の名産品の販売を行い佐伯の食をPRした。また、各地域の観光、まちづくり関連情報を店舗前及び店内のモニターに放映し、佐伯市全体の情報発信を行った。

6 さいきプレミアム商品券販売委託事業

【事業の目的】

新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済の落ち込みからの回復に向け、個人消費の活性化を図り、経済の着実な回復と再活性化の実現に寄与することを目的としてさいきプレ券発行委員会が実施する30%のプレミアム付商品券の発行事業のうち、商品券販売業務について、当社が業務委託を受けた。

【事業内容と結果】

発行冊数等：60,000冊×13,000円=780,000千円

1世帯につき、3冊まで（販売額30,000円・商品券価額39,000円）

販売・引換期間：令和4年4月11日～26日（ハガキと引換）

※商品券が余ったため追加販売（4月29日、30日、5月9日）

7 佐伯地域名産品ブランドアンテナショップ「さいき本舗城下堂」事業

【事業の目的】

中心市街地における地域消費需要の充足

地産地消の促進

佐伯名産品のブランド化及び販路構築

【事業内容と結果】

「さいき本舗城下堂」を佐伯ブランドアンテナショップとして、引き続き運営を継続した。また、ふるさと納税にも多数出品し、佐伯の名産品を提供し、佐伯のPRも

行った。しかしながら、約5か月間の店舗リニューアルのための休業や長引く新型コロナウイルス感染拡大が人々の行動や消費活動に影響を及ぼしたこと等の要因により、運営実績は芳しくなかった。

○令和4年度運営実績

年商：15,573,292円（税抜）

ふるさと納税注文件数：951件

贈答需要受注件数：351件

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

| | | 資 産 の 部 | |
|--------|---------------------|------------------|--------------------------|
| I 流 動 | 資 産 | | |
| | 現 金 ・ 預 金 | 11,963,420 | |
| | 売 掛 金 | 12,026,735 | |
| | 商 品 | 715,773 | |
| | 未 収 入 金 | 18,716 | |
| | 前 払 費 用 | 212,100 | |
| | 貸 倒 引 当 金 | <u>△72,261</u> | |
| | 流 動 資 産 合 計 | | 24,864,483 |
| II 固 定 | 資 産 | | |
| | 1 有 形 固 定 資 産 | | |
| | 建 物 | 3,416,568 | |
| | 建 物 附 属 設 備 | 2,629,594 | |
| | 工 具 器 具 備 品 | <u>3,944,781</u> | |
| | 有 形 固 定 資 産 合 計 | 9,990,943 | |
| | 2 無 形 固 定 資 産 | | |
| | ソ フ ト ウ ェ ア | <u>69,684</u> | |
| | 無 形 固 定 資 産 合 計 | 69,684 | |
| | 3 投 資 そ の 他 の 資 産 | | |
| | 差 入 保 証 金 | 47,500 | |
| | 敷 金 | <u>150,000</u> | |
| | 投 資 そ の 他 の 資 産 合 計 | <u>197,500</u> | |
| | 固 定 資 産 合 計 | | <u>10,258,127</u> |
| | 資 産 合 計 | | <u><u>35,122,610</u></u> |
| | | 負 債 の 部 | |
| I 流 動 | 負 債 | | |
| | 買 掛 金 | 467,797 | |
| | 未 払 金 | 4,060,931 | |
| | 未 払 法 人 税 等 | 182,500 | |
| | 未 払 金 (J C B) | 86,050 | |
| | 預 り 金 | 561,338 | |
| | 未 払 消 費 税 | <u>2,139,300</u> | |
| | 流 動 負 債 合 計 | | 7,497,916 |
| II 固 定 | 負 債 | | |
| | 長 期 借 入 金 | <u>7,630,000</u> | |
| | 固 定 負 債 合 計 | | <u>7,630,000</u> |
| | 負 債 合 計 | | <u>15,127,916</u> |

純 資 産 の 部

| | | |
|--------------|-------------------|--------------------------|
| I 株 主 資 本 | | |
| 1 資 本 金 | <u>15,500,000</u> | 15,500,000 |
| 2 利 益 剰 余 金 | | |
| (1) その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | <u>4,494,694</u> | |
| 利益剰余金合計 | | <u>4,494,694</u> |
| 株主資本合計 | | <u>19,994,694</u> |
| 純資産合計 | | <u>19,994,694</u> |
| 負債・純資産合計 | | <u><u>35,122,610</u></u> |

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

(単位：円)

| | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|---|------------|--|--|------------|--|
| I 売 | 上 | 高 | | | | | | | |
| | 売 | 上 | 高 | | 66,791,149 | | | 66,791,149 | |
| II 売 | 上 | 原 | 価 | | | | | | |
| | 期首 | 商品 | 棚卸 | 高 | 986,403 | | | | |
| | 仕 | 入 | | 高 | 8,616,835 | | | | |
| | 合 | | | 計 | 9,603,238 | | | | |
| | 期末 | 商品 | 棚卸 | 高 | 715,773 | | | 8,887,465 | |
| | | 売 | 上 | 総 | | | | 57,903,684 | |
| | | | | 利 | | | | | |
| | | | | 益 | | | | | |
| III 販 | 売 | 費 | 及 | び | | | | | |
| | 一 | 般 | 管 | 理 | | | | | |
| | 費 | | | | | | | | |
| | 給 | 料 | 手 | 当 | 30,730,317 | | | | |
| | 法 | 定 | 福 | 利 | 4,726,891 | | | | |
| | 福 | 利 | 厚 | 生 | 140,919 | | | | |
| | 広 | 告 | 宣 | 伝 | 694,096 | | | | |
| | 運 | | | 賃 | 382,334 | | | | |
| | 旅 | 費 | 交 | 通 | 2,213,041 | | | | |
| | 接 | 待 | 交 | 際 | 1,203,198 | | | | |
| | 車 | | 両 | 費 | 344,985 | | | | |
| | 通 | | 信 | 費 | 668,297 | | | | |
| | 水 | 道 | 光 | 熱 | 1,523,747 | | | | |
| | 租 | 税 | 公 | 課 | 98,437 | | | | |
| | 消 | 耗 | 品 | 費 | 1,613,182 | | | | |
| | 事 | 務 | 用 | 品 | 173,670 | | | | |
| | 修 | | 繕 | 費 | 56,492 | | | | |
| | 保 | | 険 | 料 | 489,510 | | | | |
| | 支 | 払 | 手 | 数 | 2,739,993 | | | | |
| | 減 | 価 | 償 | 却 | 2,782,652 | | | | |
| | 貸 | 倒 | 引 | 当 | 72,261 | | | | |
| | 外 | | 注 | 費 | 1,754,430 | | | | |
| | 会 | | 議 | 費 | 77,819 | | | | |
| | リ | 一 | ス | 料 | 960,912 | | | | |
| | 地 | 代 | 家 | 賃 | 2,784,940 | | | | |
| | 支 | 払 | 報 | 酬 | 725,864 | | | | |
| | 諸 | | 会 | 費 | 36,950 | | | | |
| | 研 | 究 | 開 | 発 | 64,168 | | | | |
| | 研 | | 修 | 費 | 6,364 | | | | |
| | 雑 | | | 費 | 245,633 | | | 57,311,102 | |
| | | | | 業 | | | | 592,582 | |
| | | | | 利 | | | | | |
| | | | | 益 | | | | | |
| IV 営 | 業 | 外 | 収 | 益 | | | | | |

| | | | |
|-----|-----------------------|------------------|-------------------------|
| | 受 取 利 息 | 531 | |
| | 貸 倒 引 当 金 戻 入 | 78,314 | |
| | 雑 収 入 | <u>1,205,599</u> | 1,284,444 |
| V 営 | 業 外 費 用 | | |
| | 支 払 利 息 | 33,225 | |
| | 雑 損 失 | <u>379</u> | <u>33,604</u> |
| | 経 常 利 益 | | <u>1,843,422</u> |
| | 税 引 前 当 期 純 利 益 | | 1,843,422 |
| | 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | | <u>182,500</u> |
| | 当 期 純 利 益 | | <u><u>1,660,922</u></u> |

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日 (単位：円)

| | 株主資本 | | | | | | | | | | 純資産合計 | |
|---------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------------|------|------------|-----------|--|------------|------------|
| | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | 純資産合計 | | | |
| | 資本金 | 資本剰余金 合計 | | 利益剰余金 合計 | 利益剰余金 合計 | | | | | | | |
| | | 資本準備金 | その他資本 剰余金 | | 資本準備金 | その他利益剰余金 任意積立金 | | | | | | 繰越利益剰余金 |
| 当期首残高 | 15,500,000 | | | | | | | | 2,833,772 | | 18,333,772 | 18,333,772 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 当期純利益 | | | | | | | | | 1,660,922 | | 1,660,922 | 1,660,922 |
| 当期変動額合計 | - | | | | | | | | 1,660,922 | | 1,660,922 | 1,660,922 |
| 当期末残高 | 15,500,000 | | | | | | | | 4,494,694 | | 19,994,694 | 19,994,694 |

個 別 注 記 表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
 - 建 物・・・・・・・・定額法
 - 建物附属設備・・・・・・・・定額法
 - 工具器具備品・・・・・・・・定率法
 - ソフトウェア・・・・・・・・定額法
 - (2) 収益及び費用の計上基準
 - 収益・・・実現主義
 - 費用・・・発生主義
 - (3) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。
3. その他の注記
 - (1) その他
 - 該当なし

別紙の通り報告致します。

令和 5 年 5 月 25 日

株式会社 まちづくり佐伯
代表取締役 宮明 邦夫

監査報告書

株式会社 まちづくり佐伯
代表取締役 宮明邦夫 様

株式会社まちづくり佐伯の令和4年4月1日～令和5年3月31日の事業年度の会計処理について、関係書類をくわしく精査照合した結果、すべて適正に処理されていることを確認しましたので報告致します。

令和5年5月25日

監査役

田口朗生



監査役

小野和章



令和5年度事業計画及び今後の経営方針

はじめに、当社は、平成23年に内閣府から中心市街地活性化事業の認定を受ける際に、その必要な要件を満たすため特定会社として誕生した。

令和2年度に、佐伯市中心市街地活性化事業を利用した市街地整備等が節目を迎え、一定の役割を終えた佐伯市中心市街地活性化協議会が解散をすることとなり、当社の経営方針の根幹であった中心市街地活性化の円滑な推進に資するという事業範囲についても、令和3年度からは佐伯市全域でのまちづくりに資する業務に取り組むことができることとなっている。

令和5年度は、佐伯市が目指す佐伯市市街地グランドデザイン（令和2年3月策定）の計画を踏まえ、中心市街地内におけるにぎわい創出の企画及び実施、まちづくりに資する創業支援等の業務を市民・民間団体・企業との連携により実施する。また、民間事業者と連携し、さいき産品の新開発や一次産品を中心としたさいき特産商品の福岡都市圏市場等への売り込みを行う。

佐伯市大手前情報発信館指定管理業務については、今年度から新たに5年間の指定管理の協定を締結した。

1 令和5年度事業計画について

(1) 市街地人と仕事創造事業

【内容】一次産品を中心としたさいき特産商品のセールスイベント等の開催によるにぎわい創出
商品開発やまちづくり情報発信サイトの運営
まちづくり団体への支援等
中心市街地内での創業支援

(2) 佐伯市チャレンジショップ事業

【内容】中心市街地の空き店舗を活用し、低廉な家賃で開業できる店舗を一定期間提供し、新規創業希望者を育成する。

(3) 地域産業教育促進事業

【内容】市内の生徒・児童の企業訪問（学校と企業間のコーディネート）
高校生対象の講習会やセミナー開催

(4) 食のまちづくり推進事業

【内容】さいき城山桜ホールキッチンコートにおいて、年24回程度食のワークショップ等を実施し、食のまちづくりを推進

(5) 大手前情報発信館指定管理業務

【内容】佐伯市の観光情報、地域情報の発信及び施設管理

(6) 佐伯産品とオーガニック商品「さいき本舗城下堂」

ヒト・コト・モノが「より」集う場 ～オーガニックの情報発信拠点～

【内容】店頭での佐伯産品、オーガニック商品の販売

ふるさと納税返礼品やギフト商品の開発と販売

自社ECサイト（インターネット上で商品やサービスを販売するウェブサイト）により全国へ向けた商品販売

おんせん県おおいた楽天サイトへの商品掲載・販売

城下堂前のオープンスペースを活用したにぎわいづくり

学生とのコラボ商品開発及び販売

地元企業や取引業者の商品を組み合わせた商品開発

2 今後の経営方針について

当社の経営方針及び事業内容等に関しては、佐伯市が国の地方創生推進交付金事業を活用した市街地人と仕事創造事業を令和3年度から令和5年度までの3年間受託し、あわせて、同事業が終了する令和6年度以降の当社の経営方針等に係る協議を昨年度から開始している。

その状況において、現時点での方向性の概要は次のとおりである。

- (1) 大きな方針の1つ目は、国が進める「観光地域づくり法人」（以下「DMO」という。）の取組である。

DMOは、観光が地方創生の切り札とされる中、交流人口や観光消費額の拡大により地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔としての役割を果たす組織として位置付けられている。当社としても、現存する他の関係組織との包括化も含め、可能な限り早期にその体制づくりを行っていくことが与えられた課題と認識している。

佐伯市が進める佐伯版DMOの取組について、行政・関連団体と足並みを揃え、後述する2つの方針も踏まえながら、今後具体化を進める。

- (2) 大きな方針の2つ目は、「さいきオーガニックシティ」の実現である。

観光の産業化やまちづくり事業は、全国各地の自治体が取組の重点施策に挙げる項目であり、その内容については地域の特徴・特性をいかした、いわゆる「地域ならではの」ものでなくてはならない。

現在、佐伯市においては、豊かな自然・歴史や文化、風土をいかしつつ、環境に配慮し、心と体に優しさを提供できる商品やサービス開発などを行い、観光及び地場産業の活性化、食育環境や人材育成環境の整備に取り組む基本理念の総称を「さいきオーガニックシティ」と名付け、「佐伯ならではの」のまちづくりの基本テーマとして掲げている。

当社においても、この基本理念実現を念頭に置き、大手前情報発信館内において先般リニューアルしたさいき本舗城下堂の経営安定を図るとともに地域商社機能を目指した事業を組み立てていく。

- (3) 大きな方針の3つ目は、佐伯市が進める公民連携との協働である。

佐伯市は、総合計画後期基本計画の中で、公共施設の整備や管理運営について、

公民連携手法を積極的に採用することで、良好なサービス提供と民間事業者の事業機会創出の両立を進める方針を明らかにしており、当社としても公民連携業務を積極的に受託し、当社の経営の安定化を図る。

そのため、現在当社が指定管理者になっている大手前情報発信館の管理運営業務を確実に遂行することで、公共施設の管理運営及び公共サービスの提供に関する知見を蓄積し、さらに、佐伯市に対して公共施設や公共サービスの公民連携導入に関する事業提案を行う。

以上、3つの大きな方針に沿って、令和5年度事業を進めていくが、特にDMOに関しては、年度中に佐伯市や他の関連組織から各種協議がなされる場面が想定される。

その内容が株主総会の承認が必要である事項に当たる場合は、事前に株主の皆様には御説明を怠りなく行うので、御理解、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 株式会社まちづくり佐伯 収支計画書

| 収入の部 | | | |
|----------|------------|------------|---------|
| 科目 | R5年度計画額 | R4年度決算額 | |
| 売上高 | 70,400,000 | 66,791,149 | |
| 期末商品棚卸高 | 700,000 | 715,773 | |
| 受取利息 | 500 | 531 | |
| 貸倒引当金戻入益 | | 78,314 | |
| 雑収入 | 200,000 | 1,205,599 | 自動販売機売上 |
| 合計 | 71,300,500 | 68,791,366 | |

| 支出の部 | | | |
|----------|------------|------------|-----------------------------------|
| 給料手当 | 28,300,000 | 29,685,897 | |
| 雑給 | 50,000 | 1,044,420 | プレミアム商品券販売用アルバイト1,000千円減 |
| 退職金 | | | |
| 法定福利費 | 4,570,000 | 4,726,891 | |
| 小計(労務費) | 32,920,000 | 35,457,208 | |
| 期首商品棚卸高 | 715,773 | 986,403 | |
| 仕入高 | 18,500,000 | 8,616,835 | 城下堂原価率70% |
| 研修費 | 0 | 6,364 | |
| 福利厚生費 | 150,000 | 140,919 | |
| 外注費 | 1,200,000 | 1,754,430 | 中期戦略検討調査1,000千円減 |
| 荷造運賃 | 400,000 | 382,334 | |
| 広告宣伝費 | 600,000 | 694,096 | FB広告掲載料、チラシ作成料 |
| 交際費 | 300,000 | 1,203,198 | プレミアム商品券委託料返納金909千円減 |
| 会議費 | 100,000 | 77,819 | 施設利用料、お茶代 |
| 旅費交通費 | 2,250,000 | 2,213,041 | ANA講師旅費、企業訪問、通勤手当 |
| 通信費 | 650,000 | 668,297 | ケーブルテレビ、ネット回線、郵送代 |
| 消耗品費 | 900,000 | 1,613,182 | テント、椅子購入費用727千円減 |
| 事務用品費 | 200,000 | 173,670 | コピー代、コピー用紙 |
| 修繕費 | 250,000 | 56,492 | チャレンジショップ1号メンテナンス |
| 水道光熱費 | 1,600,000 | 1,523,747 | 本社・城下堂分 |
| 諸会費 | 33,000 | 36,950 | 町内会費、商工会議所会費、自衛隊協力会費 |
| 支払手数料 | 1,500,000 | 2,739,993 | プレミアム商品券警備料650千円減、ライター費用550千円外注費へ |
| 車両費 | 260,000 | 344,985 | 現送車レンタル料88千円減 |
| 地代家賃 | 2,300,000 | 2,784,940 | 城下堂家賃減 |
| リース料 | 900,000 | 960,912 | オートリース3台、複合機、パソコン各1台 |
| 保険料 | 490,000 | 489,510 | 城下堂火災保険、自動車任意保険料 |
| 租税公課 | 100,000 | 98,437 | |
| 支払報酬料 | 800,000 | 725,864 | 食育講師料、税理士報酬料 |
| 研究開発費 | 100,000 | 64,168 | 新製品開発 |
| 減価償却費 | 2,900,000 | 2,782,652 | チャレンジショップ1号電気工事 |
| 貸倒繰入額(販) | 0 | 72,261 | |
| 雑費 | 250,000 | 245,633 | ゴミ廃棄料 |
| 支払利息 | 33,000 | 30,000 | |
| 雑損失 | 0 | 379 | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 | |
| 法人税等 | 182,500 | 182,500 | |
| 販管費等 | 37,664,273 | 31,670,011 | |
| 経費合計 | 70,584,273 | 67,127,219 | |

| | | | |
|----|---------|-----------|--|
| 差引 | 716,227 | 1,664,147 | |
|----|---------|-----------|--|